



2022年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社 上 組  
代 表 者 名 代表取締役社長 深井義博  
コ ー ド 番 号 9364 東証プライム  
問 合 せ 先 総務部長 岩下隆志  
(TEL : 078-271-5110)

剰余金の配当（中間配当・増配）の実施及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月11日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当・増配）の実施および2023年3月期（第84期）の期末配当予想の修正について、下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 剰余金の配当（中間配当・増配）

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月13日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	40円00銭	39円00銭	27円00銭
配当金総額	4,422百万円	—	3,136百万円
効力発生日	2022年12月6日	—	2021年12月7日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前 回 予 想	-	39円00銭	79円00銭
今 回 修 正 予 想	-	43円00銭	83円00銭
当 期 実 績	40円00銭	-	-
前 期 実 績 (2022年3月期)	27円00銭	46円00銭	73円00銭

3. 理由

当社は、最適な資本構成を勘案しつつ、持続的な企業価値の向上を目指し、収益拡大に向けた成長投資や企業基盤の強化のための内部留保を確保したうえで、安定的な利益還元を継続することを基本方針としております。

なお、現在進行中の中期経営計画においては、一層の利益還元充実と資本効率改善を図るため、連結配当性向 40%、総還元性向 90%を目安とした利益還元を実施することとしており、本日公表の「2023 年 3 月期第 2 四半期決算短信」に記載の業績状況を踏まえ、2022 年 9 月 30 日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）については、1 株当たり 40 円（直近の配当予想 39 円）へ増配することといたしました。

また、2023 年 3 月期通期連結業績につきましても、当初予想を上回る見込みであることから、2023 年 3 月期末における配当予想を 1 株当たり 43 円に上方修正するものであります。

以上